



蟹江小だより

ちがいは宝物 ～響かせよう！蟹江のハーモニー～

蟹江町立蟹江小学校

第38号

令和8年2月20日

発行者：佐古達哉

♪「食育講演会(4年生)」がありました

1月27日（火）には、蟹江町給食センター事業の一環として、4年生を対象に「食育講演会」が開催されました。講師にキッズ食育トレーナーで管理栄養士の玉谷里美先生をお迎えして、「朝食の大切さ」について、体の機能や栄養面といった視点から分かりやすくお話をしていただきました。

今回の講演会の中でも、講師の先生から「家の人と相談してみてね」という声掛けが何度かありました。子どもたちの食生活の充実・安定には、家庭の協力が必要になります。こういった子どもたちの学びの機会を通じて、ご家庭でも「食」について話すきっかけにしていただき、子どもたち自身が自らの体をつくる「食」について考え、よりよい生活を実践できるようご支援をいただけたらと思います。



♪「クラブ見学(3年生)」をしました

1月28日（水）6時間目には、3年生の子たちが「クラブ見学」を実施しました。4月からいよいよ4年に進級するにあたってクラブ活動を見学し、新年度にクラブを選択する際の助けになるよう実施をしています。



見学をする3年生の子たちは活動の邪魔をしないよう気を配りつつ、「やってみたいなー」「いいなー」と言しながら、目を輝かせて見学する様子が印象的でした。また、見られている4・5・6年生の子たちも、心なしか、普段の活動よりもしっかり取り組んでいる雰囲気があり、お互いにとって有意義な時間になったようでした。こういった機会を通じて、子どもたちがそれぞれに自身の立場を自覚し、よりよい学校生活づくりや活動の充実に役立ててくれたらと願います。

♪ いつか訪れる「進学」に向けて…

1月下旬から、舟入小学校の4・6年生の子たちが複数回来校をして、本校の4・6年生とそれぞれ「交流会」を行っています。先に紹介をした「食育講演会」にも舟入小学校の4年生が一緒に参加をしましたが、その後は体育の授業で舟入小の子に自己紹介をしてもらい、サッカーをして交流を深めました。

6年生は、4月から蟹江中学校で一緒に学ぶ仲間になることから、小規模な舟入小の子たちが、人の多い環境に慣れ、顔馴染みをつくることで、少しでも進学の不安を和らげてもらうねらいで、例年この時期に交流会を実施しています。さらに6年生は、名古屋大学から講師の先生をお迎えして「中学生になる君へ」と題した出前授業も各クラスで実施をしました。「中学校ってどんなところ？」という視点から、小学校との違いを学び、目の前に迫った「進学」に向けて心の準備をする機会になりました。



両学年で行った舟入小との交流会は、舟入小の子だけでなく本校の子たちにとっても「出会い」の貴重な機会になったようでした。こういったさまざまな機会を通じて、進学への不安を上回る「期待」や「希望」を育む助けになることを願います。